レッスン：３"M"

テーマ：Lifeの表現及び現象であるマインド

MAC3.DOC/MEN/

スピリット、光、そして火の子供達よ。私達は常に神、絶対、神の聖性に包まれています。

これまでのレッスンで、絶対存在の本質と特徴、汎宇宙的ロゴスとしての絶対存在、そして聖霊としての絶対存在について触れてきました。また、全ての創造界の構造と維持のために必要な要素として、マインドにも触れました。マインドを通じて初めて、Lifeの表現、およびLifeの現象が可能になるのです。

全てはマインドであり、マインドを通じて様々な波動のマインドが存在します。この文の意味が完全に理解できるでしょうか？ “全てはマインド”と言う時、創造界は構造として異なった様々な波動のマインドから構成されていることを意味し、また“マインドを通じて”という時、それは様々な波動のマインドを使用することによって可能となるLifeの表現について述べています。

マインドには全知と絶対に関する汎英知があります；マインドは、私達の諸体と諸宇宙が生きている実体であるのと同様に生きており、またサイキカルおよびノエティカルな宇宙が生きているのと同様に生きています。

マインドは構造であり、手段として適切な波動のマインドを使用することによって設計が現実化されるのです。マインドは波動の無限の海であり、それを通じて創造界の全ての領域、全ての世界が築かれます。

神のエバレスキア（＊絶対存在がそれ自身を動き・波動・振動の状態を通じてそれ自身の中で表現した結果）の諸世界において、マインドの波動を使用せずに構成・表現されているものは何一つありません。そのために多くの場合、人間はマインドは神と同じであると信じるようになりました。しかし、マインドは絶対ではありません。それは非顕現である絶対がそれ自身を表現するための手段にすぎません。

キリスト・ロゴスと聖霊の両方がマインドを手段として使用し、神のエバレスキア内でLifeの現れおよびLifeの現象の現れの両方を可能としています。

マインドは、あらゆるものがその中で形を帯びて生きている海に例えることができます。諸宇宙における最小の動きでさえ汎宇宙的記憶の中、私達がスーパーサブスタンスと呼ぶマインドの海の中に記録されます。このスーパーサブスタンスは最も精妙な波動の形態であり、その背後にはエーテル活力としてのLifeのスパークがあります。このエーテル活力は様々な創造の諸世界において、スーパーサブスタンスから物質まで、マインドの様々な波動を創造し、維持しています。

私達は様々な波動のマインドに出会うことでしょう。波動の違いによって創造の諸世界が定義され、それぞれ異なった波動がそれらの世界を表現しています。先ほど述べたエーテル活力は、非常に精妙な状態のマインドです。それはエネルギー、パワーであり、マクロコスモス、メゾコスモス（中宇宙）、そしてミクロコスモスを築き、維持しています。

\*Page2

正確に記録するためには、マインドに何らかの形の意識があることが必要です。この意識は法則それ自体であり、その法則が神の黙想と神のブレーシス（＊神の意志）の結果としてマインドを創造したのです。人間はノエティカル体、サイキカル体、そして肉体に対する各エーテル体を持っていますが、それらは型であり、型としての各エーテル体の上に表現体としてノエティカル体、サイキカル体、肉体が築かれています。

Lifeの現象としての表現は様々な波動のマインドを通じて可能となっており、それ故、それらの波動の質的状態が、特定のセルフ・エピグノーシスの現れの質を示しています。

創造の諸世界において元型・イデア・法則を表現するために、エーテル活力が使われます。マインドには意識があり、この意識はマインドを創造した法則そのものです。すると、その法則はその前には何処にあったのかと尋ねるかもしれません。

　　私達はしばしば無からは何も生じないと述べました。しかしながら、マインドは神の黙想とブレーシス（＊神の意志）から発せられており、従ってマインドの特徴は絶対存在の静的状態の中に見出されるはずです。

神のエバレスキアが表現される以前に既に、神の黙想とブレーシスの結果として静的状態からマインドは表現されていたのです（神のエバレスキアもまた神の黙想とブレーシスの結果ですが）。静的状態におけるマインドは法則・イデアであり；従って、マインドの意識は神の黙想とブレーシスから発せられるのです。

このマインドの意識は様々な諸世界の異なった波動の中で、同じ程度に表現されているのでしょうか？それとも、様々なフォームを帯びて、異なった強度で表現されるのでしょうか？マインドの意識は何処においても同じです。ミクロコスモスでもマクロコスモスでも同じです。私達がミクロコスモスと言うとき、それは単に肉体のみならず物質の原子も含まれます。

意識は一つであり、それは同じ海の中にあります。その結果、最も小さな動きさえも最大の中に記録され、最大の中に記録されるものは全てまた最小の中に記録されるのです。このようにして、最小のものの潜在意識はまた最大のものの潜在意識に記録され、その逆も真です。

その結果、宇宙における全ては全てとつながっています。私達はある意味で、このリアリティー　(Reality）につながるために努力しているのです。意識の表現がどこか他の場所にあるということがありえるでしょうか？もしそうなら、この現実の状態が今のように存在することは不可能でしょう。

全てはマインドであり、マインドを通じてあるのです。現在のパーソナリティーとしての人間には三つの体があり、これらの体は異なった様々な波動のマインドによってできています。これらの体の質的状態が、現在のパーソナリティーである人間の肉体、サイキカル体、ノエティカル体のそれぞれの健康に関係してきます。無知な状態にある人間は、エーテル活力としてのマインドの波動を誤用、濫用し、その結果、本人のみならずその周囲にいる人々にも苦しみをもたらします。

このポイントには非常に深い意味があるので、この文の意味を理解すれば、自分自身を無知の境界から開放するよう働くために必要なエピグノーシスが喚起されるでしょう。マインドを正しく使用することによって、真理の探究者は不必要な苦しみを経験することなく、成長に向けて意識的に進んで行くことができるでしょう。マインドを正しく使用することによって、人間は自分のパラダイスを築くことができるようになり、そこでは自分自身をより完全に表現することができ、それによって決して死を味わうことのない人々の一人となれるのです。

神のエバレスキアの諸世界においては、異なった様々な波動の表現を越えた所に原因(Cause)があり、その原因とは神の黙想と神のブレーシスです。絶対存在の中には創造の法則として、最も広大なヘブン(the Widest of Heaven)、つまり創造の母があります。創造の法則を通じて、パワーの座にあるキリスト・ロゴスが表現されます。創造の諸世界において、絶対存在の絶対的愛が汎宇宙のキリスト・ロゴスとして表現されます。また絶対存在の動的な局面である絶対パワーがあります。それは様々なアークエンジェルのオーダー（組織）を有する聖霊の表現です。

\*Page3

パンシンパティック・ロゴス(Pansympatic Logos)と聖霊は、絶対存在の二つの表現手段として、神のエバレスキアの諸世界において表現されます。

私達はパワーの座にあるキリスト・ロゴスとパンシンパティック・ロゴスを混同すべきではありません。神のアウタルキー内において、キリスト・ロゴスと聖霊は一つであり、同じです。キリスト・ロゴスと聖霊は両方とも特定の目的のために表現されます。

キリスト・ロゴスが最も広大なヘブン(the Widest of Heavens)を通じて表現される瞬間から、それ(He)は表現としてパンシンパティック・ロゴスとなり、聖霊は様々なアークエンジェルのオーダー（組織）を表現するようになります。

超ノエティック界とノエティック界とは何でしょうか？それらはスーパーサブスタンスとしてのマインドの世界であり、堅固な世界ではありません。それらはイデアのフォームとしては堅固さです。マインドの海においては全てが記録され、この海は汎宇宙的潜在意識の心、汎コズミックな記憶（アカーシャの記録）と呼ばれます。それは永遠の現在の中にあります。

汎宇宙的潜在意識の心は絶対(Absolute)であるか否か、と考えるかもしれません。しかし前に述べたように、マインドは表現のための構造、デザイン、手段であり、その背後にはLifeのスパークがあります。私達はそれ故にマインドを越えたところに建設人を探さねばならないのです。それのみがLife・真理・リアリティーとしての絶対存在なのです。それゆえ、全てはマインドであり、マインドを通じて存在するのです。マインドからではありません。

私達の肉体も全体としてそれ自身の意識を有し、それは人間としてのパーソナリティーのセルフ・エピグノーシスの意識とは完全に異なっています。先に、最小の中にも最大の中にも同じ意識があると述べたばかりなのに、なぜそうなのでしょうか？物質である各原子にはそれ自身の個別の意識がありますが、全体を形成しているそれら全ての間にはコネクションがあり、同時に汎宇宙的記憶を与える全ての宇宙の中で、物質である全ての原子とコネクションがあります。

それ故に、全ては最大の中にも最小の中にも同時に記録され、また全ての知識が私達の中にあるのです；もし私達がアチューンメント（同調）を達成するなら、私達は汎宇宙的記憶とのコネクションを意識できるようになるのです。意識的に潜在意識のマインドの中に入ることのできるパーソナリティーがいます。それは勿論、彼らが同時に汎宇宙的潜在意識のマインドの中に入れることを意味します。勿論、そこには大きな危険があります。なぜなら、それらのパーソナリティーは自分自身の経験だけを生きるのではなく、非常に多くの他のパーソナリティーの経験を生きることになるからです。

過去においては、潜在意識のマインドの中に飛び込むことによって、記憶となっているものだけを経験することができる、と信じられていました。しかし、最近の経験では、潜在意識のマインドの中に入って、現在記録されている出来事を経験することが可能であることを示しています。これはつまり、記録されているその瞬間に、出来事が展開していくのを観察できる、という意味です。そのために、エクソマトーシス（＊意志的に自分の肉体を離れ、サイコノエティック次元で完全な意識を保ち、再び肉体に戻る能力。幽体離脱中に体験すること全てを憶えている）の能力を持たない人々が、この地球の他の場所で生じている出来事に気づいている、と主張することができるのです。彼らの潜在意識のマインドが偶然に汎宇宙的潜在意識のマインドと同調しているのです。このような状況はたびたび起こります。特にその諸センター（＊エネルギーのセンター、チャクラのこと）がテクニカルな方法を通じて開かれたり、あるいはその人の諸体の間のコネクションがゆるいために潜在意識のマインドへのドアーが開かれている人々において、そのようなことが生じます。

ゆるいコネクションはドラッグ、高血圧、高熱、ある種のマントラ、そして様々なマントラのテクニカルな実習、その他多くの理由で生じます。それらの状態を体験するパーソナリティーは一般に、感情的に不安定です。

\*page4

どのような理由でそうなったにせよ、勿論そのような人々は多くの苦しみを体験します。なぜなら、彼らの経験は必ずしも楽しいものばかりとは限らないからです；彼らはこの潜在意識のマインドへのダイビングから自分自身を解放することができません。なぜなら、彼らの同調は意識的に、そして自らの意志でなされたわけではないからです。

サイコノエティカルな上昇の結果としての同調と、テクニカルな方法による同調との間に何らかの違いがあるのでしょうか？最も根本的な違いは、前者ではパーソナリティーが意識的に投射できるので、時間・空間の意味内に自分のエーテル活力を意識的に投射しています。完全な表現としてのこのパーソナリティーは、超意識的に同調することができ、現在のパーソナリティーとしてその投射に完全に責任を持つことができます；このエーテル活力は時間・空間の意味内で投射されます。

他方、テクニカルな方法の結果、パーソナリティーが投射のイリュージョンの下にある場合、このパーソナリティーは自分の潜在意識の中で投射するのですが、時間・空間内での投射は全くありません。

この状態にあるパーソナリティーは、勿論、自分がエクソマトーシスに入っているのではないことに気づいていません。そうです、彼らはその状況、出来事を生きているのですが、それはあたかもその出来事に参加して原因・結果の法則が許す範囲内で助けることのできる両手を持たないのと同じです。そのパーソナリティーは、彼自身の潜在意識内および汎宇宙的潜在意識のマインド内の両方で生じている出来事の単なるオブザーバー（観察者）でしかない、と言うことができます。

サイコノエティカルな上昇の結果としてエクソマトーシスの能力を持つパーソナリティーは、自分の肉体・サイキカル体・ノエティカル体を完全にコントロールすることができます。彼らは自分のパーソナリティーであるセルフ・エピグノーシスを超意識的に時間・空間の意味内に投射し、進行中の出来事に参加し、その結果、原因・結果の法則が許す範囲内で援助の手を差し伸べることができるのです。

真理の探究者としての私達の目的は、サイコノエティカルな上昇を通じて、現在のパーソナリティーの諸体をマスターすることです。私達の目的はエーテル活力を意識的に使用できるようになり、それを同胞の人間達に提供して彼らの苦痛を軽減することです。そして、私達の現在のパーソナリティーを通じて神の愛を与えることが許されることを感謝する段階に到達することです。

私達は常に神、絶対。神の聖性に抱かれています。

EREVNA MAC3/DOC/MEN/90/91 3M/4END